

脳卒中になってから

～ より良い生活を目指して ～



いわてリハビリテーションセンター

はじめに

岩手県において、年間約3,000人の方が脳卒中にかかっており、約400人に1人の割合で発症していることとなります。また、国の調査では、介護が必要となった方の原因は脳卒中が25.7%で第1位となっています。

近年、医療が発展するに従い、脳卒中にかかっても一命を取り留めることも多くなってきていますが、それに伴って脳卒中の後遺症を抱えながら生活する方が増えています。

さて、脳卒中の原因や後遺症、予防法についての書籍や資料は色々なところで目にする機会があります。しかしながら、実際に発症した後にどのような問題点があるのか、そして、その後の生活に役立つ方法や助けについて知る機会は意外に少ないように思われます。

そこで、このパンフレットでは、事例を通して脳卒中の発症から退院後の生活の中で起こりうる様々な問題や、その時に利用できるサービスや制度について紹介をします。

また、実際に脳卒中になられた方が、その後も周りの人々に支えられたり、様々なサービスや制度を利用することにより、元気に生活されている様子についても載せております。

本紙が、脳卒中になった方の新たな人生の一助になれば幸いです。

平成24年3月

いわてリハビリテーションセンター

目次

1. はじめに	
2. 脳卒中になってから（事例を通して）	2
○ 発症・入院	3
・脳卒中の症状について	
○ 転院	4
・医療費に関する制度について	
○ 退院	6
・これからの生活で使える制度やサービスについて	
○ 復職	8
・復職時に使える制度やサービスについて	
・高次脳機能障害と就労について	
○ 家族会	11
・支援機関一覧	
3. 当事者の声	14
4. 編集後記	21